

このたび、平成22年12月8日（水）に

「日本・ウズベキスタン国際シンポジウム」を

衆議院第一議員会館国際会議室において開催いたしました。

140名近くの方々にご出席いただき、盛会裡に終えることができました。

皆様方に改めて御礼申し上げます。

取材を受けました愛媛新聞の記事、並びにシンポジウムの概要は別紙のとおりです。

# 日本・ウズベキスタン国際シンポジウム 2010

## ～健全な市民社会の形成における日本とウズベキスタンの経験～

### 開催のご案内

日本とウズベキスタン共和国の友好関係は、シルクロードの時代に始まる長い交流の歴史があります。同国はユーラシア大陸の中心に位置し、建国以来両国関係は極めて良好であり、強い信頼関係で結ばれております。来年にはカリモフ大統領のご訪日、また本年12月には上院ならびに下院の議長・副議長の日本へのご訪日を控えております。このような機運の中、我々はウズベキスタン共和国の憲法記念日である12月8日に両国の国会議員・研究者・専門家によるシンポジウムを日本の国会に於いて開催する運びとなりました。このシンポジウムが千年の歴史と共に築かれた両国間の更なる友好の契機になれば幸いです。各界の皆様方のご参加をお願い致したく、ご案内申し上げます。

駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使 ハミドゥラ カラマトフ  
衆議院議員 村上誠一郎

#### 記

日時： 2010年12月8日（水）13:00～17:30（受付開始12:30）

会場： 衆議院第一議員会館1階 国際会議室 東京都千代田区永田町2-2-1  
（最寄駅：東京メトロ「国会議事堂前」駅1番出口より徒歩1分）

テーマ：健全な市民社会の形成における日本とウズベキスタンの経験

定員：90名（先着順）

参加費：無料

主催：[日本]

財団法人アジア国際支援財団・順天堂大学医学部衛生学教室・衆議院議員村上誠一郎事務所  
[ウズベキスタン]

駐日ウズベキスタン共和国大使館・市民社会研究所  
[国際機関]

欧州安全保障協力機構（OSCE）

協賛：特定非営利活動法人日本ウズベキスタン協会・特定非営利活動法人市民環境研究所  
特定非営利活動法人科学技術者フォーラム・一般社団法人医学生物学電子顕微鏡技術学会  
財団法人芳越一誠寮

事務局：財団法人アジア国際支援財団 東京都豊島区東池袋1-32-1 第二アムスビル6階  
TEL：03-5950-7721 FAX：03-5958-1521（担当：山口）

申込：別紙「申込書」にご記入、または電話にて12月7日（火）までに、衆議院議員村上誠一郎事務所宛、お申し込みください。

\*当日のお問い合わせは衆議院議員村上誠一郎事務所（TEL03-3508-7291）へお願いします。

\*入場方法：当日は衆議院第一議員会館ロビーに「日本・ウズベキスタン国際シンポジウム」の案内係がおりますので、お声をかけてください。会場への入館証をお渡しいたします。なお14:00以降の入場の場合は村上事務所までご連絡ください。

講師の日程等の都合により、直近のご案内になりますことをご詫び申し上げます。

## 日本・ウズベキスタン国際シンポジウム2010 進行表（登壇順）

テーマ「健全な市民社会の形成における日本とウズベキスタンの経験」（衆議院第一議員会館 国際会議室 2010.12.8）  
主催：[日本] 衆議院議員村上誠一郎事務所 財団法人アジア国際支援財団 順天堂大学医学部衛生学教室  
[ウズベキスタン] 駐日ウズベキスタン共和国大使館 市民社会研究所  
[国際機関] 欧州安全保障協力機構（OSCE）

13:00 開会

司会：五月女光弘（財団法人アジア国際支援財団顧問・前外務省参与・初代NGO担当大使）  
挨拶：村上誠一郎（衆議院議員・元国務大臣）  
M. ウスマノフ（市民社会研究所所長）  
H. カラマトフ（駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使・元副首相・外務副大臣）

### 第1部会（13:30～15:30）

テーマ：日本・ウズベキスタンの市民団体による社会貢献活動の紹介

コディネーター：田中哲二/M. ウスマノフ

登壇者：田中哲二（国連大学学長上級顧問・株式会社常勤顧問・政策研究大学院大学及び拓殖大学客員教授）  
山口洋一（財団法人アジア国際支援財団理事・元ユネスコ常駐代表・元在マダガスカル・トルコ・ミャンマー特命全権大使）  
嵐 信彦（特定非営利活動法人日本ウズベキスタン協会会長・ジャーナリスト・白鷗大学教授）  
友村自生（イオン1%クラブ事務局長）  
M. ウスマノフ（市民社会研究所所長）  
M. ホジャムベルディエフ（ウズベキスタン最高会議上院議員・学術教育文化スポーツ委員会委員長）

休憩（15:30～15:50）

隣室「多目的ホール」にてウズベキスタンの軽食、飲み物をご用意いたします。紹介資料・展示パネル等もご覧ください。

### 第2部会（15:50～17:00）

テーマ：日本・ウズベキスタンの国会議員による意見交換（コディネーター：村上誠一郎/五月女光弘）

登壇者：松原 仁（衆議院議員 民主党・海賊行為への対処並びに国際テロリズムの防止及び我が国の協力支援活動等に関する特別委員長）  
鴨下一郎（衆議院議員 自由民主党・元環境大臣）  
石川ひろたか（参議院議員 公明党・国際局次長）  
中山恭子（参議院議員 たちあがれ日本・元国務大臣・元駐ウズベキスタン共和国特命全権大使）  
R. アフノフ（ウズベキスタン下院議員・自由民主党局長）  
M. ホジャムベルディエフ（ウズベキスタン最高会議上院議員・学術教育文化スポーツ委員会委員長）

### 第3部会（17:00～18:20）

テーマ：日本とウズベキスタンの環境問題についてのディスカッション

コディネーター：千葉百子/D. ファイジエフ

登壇者：石田紀郎（元京都大学大学院教授・人間環境大学教授・特定非営利活動法人市民研究所長）  
千葉百子（順天堂大学医学部客員教授）  
川端良子（東京農工大学国際センター准教授）  
D. ファイジエフ（ウズベキスタン下院議員・政党「環境運動」党首）  
Kh. イスラムハジャエフ（タシケント国立法科大学教授学科長）

18:20～18:35 閉会挨拶

M. ウスマノフ（市民社会研究所所長）  
徳原榮輔（財団法人アジア国際支援財団会長）

「インフラ整備などの課題解消には全面的に協力したい。レアメタルなど資源問題では助けてもらい、補完し合えればいい」。自民党の村上誠一郎氏(衆院2区)が8日、東京・永田町の議員会館であった「日本・ウズベキスタン国際シンポジウム」に出席。アジアの一員として相互発展を誓った。

旧知の大学教授が同国の環境問題に取り組んでいた縁で、駐日大使らとの親交が深まった。シンポには主催者・コーディネーターとして名を連ね、民主主義や教育について民主党議員らと意見交換した。



## 「慣らし運転中」も舌鋒鋭く

院から一時外出してシンポに参加。基礎学力の重要性を語り始めるとヒートアップし、机をたたきながらの熱弁に出席者も目を丸くしていた。

途中退席後は「政治主導というなら、こうして議員外交を重ね、実績を積み上げないといけない」。民主党政権をばっさり切り捨てる、いつもの舌鋒(ぜっぽう)だった。

(和泉太)